

# 令和5年度 事業報告 及び決算報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

社会福祉法人 山形県コロニー協会

社会福祉法人 山形県コロニー協会

## 令和 5 年度 事業報告

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日)

### 総 括

新型コロナウイルス感染症は第 5 類に分類され、ウィズコロナの時代となった。これまでの自粛制限によるリスク管理から、コロナとの共存を前提とした社会活動再開は、暗にこれまで以上に日常的な感染症対策の徹底と継続を求められることとなった。実際にコロナ陽性ケースは以前よりも身近となり、感染を理由に欠勤するケースも各所で散見され、支援体制上でも、通所者の日割り給付収入面でも穴が生じた。インフルエンザの流行も相まって事業開設と安全な環境の保持にとっては難しい舵取りとなった。

一方、コロナ制限の解除により進められた事業もあった。対外的な事業や交流事業等の再開は喜ばしいもので、感染症に留意し大幅な規模縮小策を取ったが、4 年ぶりにコロニー祭りを開催し、地域等との交流を再開できた。また、採用 5 年以内の職員が半数を超える当法人としては、コロナ禍により従業員間交流や親睦の機会が全く持ててこなかったが、ようやく全職員参集の研修を開催でき、相互に研鑽・交流する機会を持てた。その中では、相互理解のための交流のみならず、法人やゼンコロの歴史やコロニー精神のための教育、虐待防止、個人情報保護、人権学習と言った様々な研修を共に学ぶ機会を持った。

障害者の社会的自立を支える就労支援事業は、厳しい状況の中でも共に働き、共に汗を流してきた。福祉工場の印刷事業は、売上自体は若干の持ち直し傾向は見えるが、コロナ禍以前との比較では落ち込みが回復していない。また、物価高騰等の影響が収益面では重くのしかかり、経営面での課題となってきた。2 年目となった国立国会図書館の蔵書デジタル化事業は、日本財団チーム全体が当初計画の半数しか受注できなかったため、当工場の売上も半減する厳しい結果となった。しかし、本事業への障害当事者の参加を計画的に進めながら、A 型雇用者数を 1 名から 4 名まで増員し、B 型利用者も昨年を超える稼働参加を果たした点は、今後のデジタル化事業の展望にとっても、大きな進展と言える。

コロニーセンターは新たな工賃向上戦略として、デジタル化参加の他に、山形県の工賃向上事業に参加した。共同受注センターと I T 関連入力用 P C のレンタル契約を締結し、オンライン作業の受託を開始し工賃向上を目指したが、NDL デジタル化受注コマ数の割り込みの影響が大きく、目標とした 4 年度平均工賃の更新は叶わなかった。

就労移行支援は、利用者数の減少が近年の課題になり始めた。5 年度は利用者が定員の半数を維持できず、当初予算を大きく下回る厳しい結果となった。比較的経験の浅い職員構成も一因と考えられるが、訓練型就労移行支援としての事業所実績や強み等を活かした対外的情報発信等に課題があり、再建に向けて取り組みを進めていかなければならない。

相談支援事業は、山形も天童も、地域自体が新規ケースの受け入れが困難な状況が続いており、支援ニーズに対し支援体制の不足が地域課題となっている。採用難の時代となり、相談支援体制の改善には、内部人材を育成する機能の強化策を持つ必要が高くなっている。ま

た、市が行う相談支援の委託事業が課税事業であることへの対応について、山形・天童両市からの相談を受け、対応について協議を進めた。

村山障害者就業・生活支援センター「ふうれ」は、県内で最も登録者の多い圏域を担っておりケース対応数は他圏域とは比較にならない。限られた予算や人員配置の中でもコロニーらしい丁寧な支援対応に努めてきた。しかし、対応等について賛否があったのも事実であるため、より信頼されるセンター機能をより高めていきたい。一方で、相談支援やふうれのよう、行政の事業等の委託事業を社会福祉法人等が引き受けるケースで、民間の福祉法人が自己資金を充てることでしか事業要件が成立しないような契約の在り方は問題である。引き続き、適切な事業予算化に基づく事業委託の実現に向け、話し合いを継続する努力が必要である。

グループホームは、老朽化が進む東青田と鳥居ヶ丘を整理し、快適で、暮らしやすい環境の整備に努めた。また、生活支援力の強化に向けた体制整備にも努めてきた。今後も複数年計画で、より良いグループホーム事業づくりを進めていく。

児童福祉法に基づく児童発達支援と放課後等デイサービスについては、各々の事業内容への評価は高く、利用ニーズは極めて高い状況が続いている。しかし、担い手である児童指導員や保育士の確保に苦慮しており、働き手をどのようにして確保していけるかが、最大の事業課題となってきている。相談支援専門員同様に、法人内職員の資格取得や人材育成面でのアプローチが必要な状況になっている。

福祉拠点として事業継続のための管理を組織的に行うことが求められる中、当法人の各事業所でも、感染症や衛生管理のみならず、緊急時や災害時の対応等も含めた計画や規定を策定した。

## 1. 理事（監事）会・評議員会

理事（監事）会は、グループホームの統廃合の審議から法令の改訂に伴う各事業の運営規程の改正について審議した。次年度の福祉工場の機械設備の更新などの議案審議等を中心に、計6回開催した。（内1回は書面決議）

評議員会は、令和5年6月23日に定時評議員会（第65回評議員会）を開催し、令和4年度決算について審議したほか、理事及び監事の選任について審議した。

## 2. 監事監査

監事2名による令和4年度の理事の職務の執行状況及び法人の財産状況に係る監事監査を5月31日に実施した。監査結果については、6月8日開催の第262回理事会及び6月23日開催の定時評議員会（第65回評議員会）において監事から報告された。

## 3. 第三者委員による直接苦情受付（施設訪問）の実施

本年度は桜田南拠点にて3回、天童拠点において2回の計5回の直接苦情受付（施設訪問）を実施した。

【桜田南拠点】

第1回 令和5年4月26日(木) 12:00~13:30

- ・松田 昭裕 委員 …… 受付:0件(場所:コロニーセンター2階相談室)
- ・相蘇恵美子 委員 …… 受付:0件(場所:コロニーハイツ1階娛樂室)

第2回 令和5年11月16日(木) 12:00~13:30

- ・松田 昭裕 委員 …… 受付:0件(場所:コロニーセンター2階相談室)
- ・相蘇恵美子 委員 …… 受付:0件(場所:コロニーハイツ1階娛樂室)

第3回 令和6年2月15日(木) 12:00~13:30

- ・松田 昭裕 委員 …… 受付:0件(場所:コロニーセンター2階相談室)
- ・相蘇恵美子 委員 …… 受付:0件(場所:コロニーハイツ1階娛樂室)

#### 【天童拠点】

第1回 令和5年6月22日(木) 11:00~12:00

- ・相蘇恵美子 委員 …… 受付:0件(場所:天童サポートセンター2階相談室)

第2回 令和6年1月19日(金) 11:00~12:00

- ・松田 昭裕 委員 …… 受付:0件(場所:天童サポートセンター2階相談室)

#### 4. 第三者委員との苦情解決合同会議及び虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会の開催

令和5年度は、各事業所の苦情直接受付担当者及び苦情解決責任者並びに苦情解決第三者委員を参集とオンライン(zoom)でつなぎ、会議を年4回開催した。また苦情解決第三者委員合同会議終了後、虐待防止委員会を4回、身体拘束適正化委員会を3回開催した。

##### ○ 第1回苦情解決合同会議及び第1回虐待防止委員会

- ・日 時: 令和5年4月26日(木) 13:30~14:00
- ・内 容: ① 第三者委員への直接連絡 …… 0件
- ② 第三者委員施設訪問時の直接受付 …… 0件
- ③ 苦情受付担当者による直接受付 …… 0件
- ④ 意見箱への投函 …… 0件
- ⑤ 虐待に関わる報告 …… 0件

##### ○ 第2回苦情解決合同会議及び第2回虐待防止委員会、第1回身体拘束適正化委員会

- ・日 時: 令和5年8月24日(金) 13:30~15:00
- ・内 容: ① 第三者委員への直接連絡 …… 0件
- ② 第三者委員施設訪問時の直接受付 …… 0件
- ③ 苦情受付担当者による直接受付 …… 4件
- ④ 意見箱への投函 …… 0件
- ⑤ 虐待に関わる報告 …… 0件
- ⑥ 身体拘束に関わる報告 …… 0件

##### ○ 第3回苦情解決合同会議及び第3回虐待防止委員会、第2回身体拘束適正化委員会

- ・日 時: 令和5年11月16日(木) 13:30~15:00
- ・内 容: ① 第三者委員への直接連絡 …… 0件

- ② 第三者委員施設訪問時の直接受付 … 0件
  - ③ 苦情受付担当者による直接受付 …… 2件
  - ④ 意見箱への投函 …………… 1件
  - ⑤ 虐待に関わる報告 …………… 0件
  - ⑥ 身体拘束に関わる報告…………… 0件
- 第4回苦情解決合同会議及び第4回虐待防止委員会、第3回身体拘束適正化委員会
- ・日時：令和6年2月15日（木）13:30～14:20
  - ・内容：① 第三者委員への直接連絡 …………… 0件
  - ② 第三者委員施設訪問時の直接受付 … 0件
  - ③ 苦情受付担当者による直接受付 …… 1件
  - ④ 意見箱への投函 …………… 0件
  - ⑤ 虐待に関わる報告 …………… 0件
  - ⑥ 身体拘束に関わる報告…………… 0件

## 5. 労働安全対策

毎月1回（15日）に労働安全衛生委員による安全衛生巡回と労働安全衛生委員会を開催し、ヒヤリ・ハット、危険箇所の早期改善等、全ての職員の安全確保、災害の防止及び保健衛生の向上のための安全衛生管理の充実を図った。

毎年、7月1日から7日まで「全国安全週間」、10月1日から7日まで「全国労働衛生週間」であり、この期間中にはポスター等による周知等により啓発活動を実施し、協会全体で安全衛生管理活動に積極的に取り組んだ。また、10月1日から11月30日まで山形労働局等が主催する「山形ゼロ災運動」及び9月23日から12月31日までの「無事故無違反チャレンジ100」に参加協力した。

## 6. 防災対策

各事業所における避難訓練の他、火災・大規模地震を想定した総合防災訓練を年2回実施した。

水害に備えた防災計画、災害時の業務継続計画（BCP）を作成し内容について適宜確認した。災害対策用備蓄品の食糧品・医薬品・日用品について必要に応じて更新し、非常食については実際の調理提供喫食を訓練の中で実施した。

## 7. 全体収支総括

福祉事業活動収支（対前年比）	収入総額	376,094千円	（昨年対比	105.3%）
	支出総額	407,740千円	（昨年対比	102.9%）
就労支援事業収支（対前年比）	収入総額	192,097千円	（昨年対比	89.3%）
	支出総額	199,712千円	（昨年対比	89.0%）

## 8. 情報公開

透明性の高い事業運営を目指し、ホームページ等を活用し積極的に情報公開に努めた。法人からのお知らせの他、各事業所の活動、求人情報等についても適宜ホームページを更新した。また、協会内の活動報告として会報を年2回発刊した。

## 9. 地域との交流・協力体制

新型コロナウイルスが第5類に分類されたことで4年ぶりに地域交流会を桜田南拠点、天童拠点それぞれで安心安全に留意し開催した。感染対策を徹底のうえ、可能な限り地域の方々の桜田南町内会（役員会・総会・自主防災会）の会合、蔵王地区地域健康教室（いきいきサロン）等、施設・敷地等を解放し、施設利用ニーズに応えた。

委員会組織として活動している「坂巻川に親しむ会」として、今年度も「山形県ふるさとの川愛護活動支援事業」に参加した。社会貢献活動の一環として近隣地域の2団体とも協力しながら、河川（坂巻川）周辺の草刈り、ゴミ拾い等、環境整備・美観向上に努めた。

## 10. 職員研修の実施

障害者福祉サービスの担い手としての資質・専門性の向上を図るため、職員内部研修を年間3回実施した。各事業所単位での専門研修の実施のほかに、桜田南拠点に集合しつつも会場を分けzoomを活用したオンライン研修を実施した。

関係機関、他団体主催の研修・勉強会等についてもzoom等のオンライン研修の機会と集合研修も交えたハイブリット型の研修も増加し、近隣だけでなく遠方で開催される研修への参加機会のも増加した。

### 【職員研修（内部）】

#### ○ 職員研修①（zoom、グループワーク）

- ・日 時：令和5年8月19日（土）8:30～12:30
- ・場 所：山形県コロニー協会 桜田南拠点（zoom）
- ・内 容：プライバシーマーク研修、感染症予防対策の基礎、感染症予防の実際、AEDの操作方法

#### ○ 職員研修②（zoom、階層別研修）

- ・日 時：令和5年11月25日（土）8:30～12:30
- ・場 所：山形県コロニー協会 桜田南拠点（zoom）
- ・内 容：山形コロニーとゼンコロの現状と今後の展望 講話  
：階層別研修 管理職の役割について 働きやすい職場作り

#### ○ 職員研修③（zoom、グループワーク）

- ・日 時：令和6年1月13日（土）8:30～12:30
- ・場 所：山形県コロニー協会 桜田南拠点（zoom）
- ・内 容：山形県コロニー協会指針講話  
：虐待防止研修（伝達研修）

## 11. 有資格者の現員

下記の国家資格について、有資格者数は下表のとおりとなった。今年度は社会福祉士試験に2名が合格した

表) 有資格者数

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	保育士	看護師 (准看護師)	栄養士
16	4	5	19	6 (4)	1

※重複有資格者、非常勤職員を含む。

## 12. その他

### ① アビリンピック（障害者技能競技大会）参加

【第21回山形県障害者技能競技大会（アビリンピックやまがた2023）】

7月5日に、山形市にある山形ビッグウイングにおいて「アビリンピックやまがた2023」が開催された。山形県コロニー協会が運営する事業所からの出場者は下記のとおり。

（就労移行支援事業・就労定着支援事業 山形コロニー就労サポートセンター）

- ・オフィスアシスタント部門 …………… 1名
- ・ワード・プロセッサ（初級含む）部門 …………… 3名

（就労継続支援事業A型 山形福祉工場）

- ・DTP部門 …………… 1名
- ・製品パッキング部門（デモンストレーション） …… 1名

### ② 一般社団法人ゼンコロ活動

加盟している一般社団法人ゼンコロには、当法人から常務理事1名、運営委員1名を派遣している。令和5年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から理事会・総会（6月・3月）についてはいずれも書面での開催であったが、11月の総会については東京での参集型の開催となった。

参加型の事業も活発化し、10月に開催されたゼンコロ版アビリンピックはコロニー東村山での参集とオンラインによるハイブリッド開催、12月には熊本コロニーにゼンコロ加盟法人が参集しジョブマッチング担当者会議が開催された。

令和5年度

# 決算報告書

社会福祉法人山形県コロニー協会

## 法人単位資金収支計算書

(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	196,180,000	192,097,849	4,082,151	
	障害福祉サービス等事業収入	383,818,000	375,971,597	7,846,403	
	経常経費寄附金収入	123,000	123,000	0	
	受取利息配当金収入	2,000	3,360	△1,360	
	その他の収入	16,969,000	18,430,611	△1,461,611	
	事業活動収入計(1)	597,092,000	586,626,417	10,465,583	
	支出				
	人件費支出	305,570,000	301,988,284	3,581,716	
	事業費支出	23,334,000	21,174,262	2,159,738	
	事務費支出	68,465,000	64,335,742	4,129,258	
就労支援事業支出	194,000,000	185,286,454	8,713,546		
支払利息支出	795,000	794,155	845		
その他の支出	535,000	434,511	100,489		
事業活動支出計(2)	592,699,000	574,013,408	18,685,592		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,393,000	12,613,009	△8,220,009		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	1,050,000	1,049,400	600	
	施設整備等寄附金収入	218,000	218,000	0	
	固定資産売却収入	110,000	110,000	0	
	施設整備等収入計(4)	1,378,000	1,377,400	600	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	5,004,000	5,004,000	0	
固定資産取得支出	12,564,000	12,505,343	58,657		
施設整備等支出計(5)	17,568,000	17,509,343	58,657		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△16,190,000	△16,131,943	△58,057		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動による収入		978,060	△978,060	
	その他の活動収入計(7)	0	978,060	△978,060	
	支出				
	積立資産支出	1,000	31	969	
	その他の活動による支出	29,000	26,550	2,450	
その他の活動支出計(8)	30,000	26,581	3,419		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△30,000	951,479	△981,479		
予備費支出(10)		—			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△11,827,000	△2,567,455	△9,259,545		
前期末支払資金残高(12)	276,326,437	276,326,437	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	264,499,437	273,758,982	△9,259,545		

## 法人単位事業活動計算書

(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	児童福祉事業収益	1,203,070		1,203,070
	就労支援事業収益	192,097,849	214,887,973	△22,790,124
	障害福祉サービス等事業収益	374,768,527	357,032,125	17,736,402
	経常経費寄附金収益	123,000	50,000	73,000
	サービス活動収益計(1)	568,192,446	571,970,098	△3,777,652
	費用			
	人件費	300,530,284	282,014,046	18,516,238
	事業費	21,174,262	23,400,728	△2,226,466
	事務費	64,335,742	67,748,427	△3,412,685
就労支援事業費用	199,712,048	224,154,649	△24,442,601	
減価償却費	26,431,806	27,289,862	△858,056	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△4,923,191	△4,814,815	△108,376	
徴収不能引当金繰入	191,400	282,660	△91,260	
サービス活動費用計(2)	607,452,351	620,075,557	△12,623,206	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△39,259,905	△48,105,459	8,845,554	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	3,360	3,409	△49
	その他のサービス活動外収益	18,430,611	22,078,557	△3,647,946
	経常経費補助金等収益	16,478,910	20,563,324	△4,084,414
	サービス活動外収益計(4)	18,433,971	22,081,966	△3,647,995
	費用			
	支払利息	794,155	822,866	△28,711
	その他のサービス活動外費用	434,511	272,744	161,767
	サービス活動外費用計(5)	1,228,666	1,095,610	133,056
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	17,205,305	20,986,356	△3,781,051
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△22,054,600	△27,119,103	5,064,503	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	1,049,400	37,796,933	△36,747,533
	施設整備等寄附金収益	218,000		218,000
	固定資産売却益	109,999	30,000	79,999
	その他の特別収益	282,660	116,800	165,860
	特別収益計(8)	1,660,059	37,943,733	△36,283,674
	費用			
	固定資産売却損・処分損	1	2	△1
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,049,400	34,111,866	△33,062,466
	特別費用計(9)	1,049,401	34,111,868	△33,062,467
特別増減差額(10)=(8)-(9)	610,658	3,831,865	△3,221,207	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△21,443,942	△23,287,238	1,843,296	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	357,070,523	381,157,761	△24,087,238
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	335,626,581	357,870,523	△22,243,942
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)	31	800,000	△799,969
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	335,626,550	357,070,523	△21,443,973

法人単位貸借対照表

令和 6年 3月31日 現在

		(単位:円)			
		資産の部		負債の部	
		当年度末	前年度末	増減	
流動資産		300,826,165	310,867,897	△10,041,732	流動負債
現金預金		187,700,614	179,392,423	8,308,191	事業未払金
事業未収金		31,132,729	49,364,811	△18,232,082	その他の未払金
未収金		671,529	1,038,729	△367,200	1年以内返済予定設備資金借入金
未収収益		72,178,676	72,334,473	△155,797	未払費用
仕掛品		1,609,600	1,994,500	△384,900	預り金
原材料		1,995,553	1,497,980	497,573	職員預り金
立替金		3,959,088	3,878,471	80,617	前受金
前払金		27,000	45,000	△18,000	賞与引当金
前払費用		1,742,776	1,604,170	138,606	
徴収不能引当金		△191,400	△282,660	91,260	
固定資産		517,281,249	557,684,312	△40,403,063	固定負債
基本財産		248,826,762	264,716,635	△15,889,873	設備資金借入金
土地		76,997,713	76,997,713	0	退職給付引当金
建物		171,829,049	187,718,922	△15,889,873	負債の部合計
その他の固定資産		268,454,487	292,967,677	△24,513,190	純資産の部
土地		9,356,400	9,356,400	0	基本金
建物		49,082,829	52,230,712	△3,147,883	第1号基本金
構築物		10,807,760	12,470,844	△1,663,084	国庫補助金等特別積立金
機械及び装置		21,539,209	30,855,872	△9,316,663	その他の積立金
車輦運搬具		4,291,121	5,092,810	△801,689	修繕積立金
器具及び備品		53,311,187	63,785,060	△10,473,873	備品等購入積立金
ソフトウェア		1,430,872	2,449,142	△1,018,270	工賃変動積立金
投資有価証券		25,000	25,000	0	次期繰越活動増減差額
退職給付引当資産		36,898,010	34,038,259	2,859,751	(うち当期活動増減差額)
修繕積立資産		4,576,153	4,576,153	0	
備品等購入積立資産		36,302,836	36,302,805	31	
工賃変動積立資産		36,256,000	36,256,000	0	
差入保証金		2,548,000	2,708,000	△160,000	
長期前払費用		819,500	1,611,500	△792,000	
定期預金		1,000,000	1,000,000	0	
預託金		209,610	209,120	490	
		818,107,414	868,552,209	△50,444,795	純資産の部合計
					負債及び純資産の部合計
					711,596,310
					△39,209,336
					868,552,209
					△50,444,795

財産目録  
令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						187,700,614
現金	小口現金	—	—	—	—	275,465
	売上現金	—	—	—	—	876,521
			小計			1,151,986
普通預金	山銀南山形・サボ	—	—	—	—	8,342,741
	山銀南山形・工場	—	—	—	—	43,447,239
	山銀東山形・工場	—	—	—	—	9,358,937
	荘内あかねヶ丘・工場	—	—	—	—	11,135,741
	きらやか桜町・工場	—	—	—	—	9,838,107
	山形市農協・工場	—	—	—	—	9,022,716
	きらやか山形東・工場	—	—	—	—	8,966,102
	郵便貯金・工場	—	—	—	—	549,893
	きらやか北・センター施設	—	—	—	—	10,067,875
	山形農協・センター	—	—	—	—	1,259,272
	きらやか桜田・共同生活援助事	—	—	—	—	4,751,776
	山銀南山形・相談	—	—	—	—	15,941,275
	山銀南山形・シート	—	—	—	—	13,121,276
	山銀鈴川・センター福祉	—	—	—	—	4,980,388
	きらやか北・センター就労	—	—	—	—	392,238
	山銀南山形・ういる	—	—	—	—	5,426,795
	山銀南山形・天童相談	—	—	—	—	4,576,763
	山銀南山形・シート天童	—	—	—	—	7,278,571
	山銀南山形・本部	—	—	—	—	3,702,015
	山銀南山形・就業	—	—	—	—	1,756,816
	山銀南山形・生活	—	—	—	—	3,442,755
			小計			177,359,291
定期預金	きらやか北営業部	—	運転資金	—	—	9,189,337
事業未収金	福祉工場	—	就労支援事業顧客分	—	—	27,758,223
	センター	—	就労支援事業顧客分	—	—	584,715
	各サービス区分	—	3月末利用者利用料料金	—	—	2,789,791
			小計			31,132,729
未収金	本部	—	過年度退去者利用料 (ハイツより振替)	—	—	21,729
	シート	—	施設整備補助金本部より振替予 定分	—	—	349,800
	ういる天童	—	特定求職者雇用開発助成金本部 より振替予定分	—	—	300,000
			小計			671,529
未収収益	各サービス区分	—	自立支援費、受託事業受託費	—	—	72,178,676
仕掛品	福祉工場	—	就労支援事業分 印刷半製品	—	—	1,609,600
原材料	福祉工場、コロニーセンター	—	就労支援事業分 印刷材料・パン材料	—	—	1,995,553
立替金	各サービス区分	—	3月分諸経費、育児休業職員社会 保険料等立替	—	—	3,959,088
前払金	コロニーセンター	—	ファーム事業地代	—	—	27,000
前払費用	各サービス区分	—	次年度分損害保険料等	—	—	1,742,776
事業区分間貸付金	福祉工場	—	公益事業への貸付	—	—	31,000,000
徴収不能引当金	各サービス区分	—	就労支援事業売上債権・各サー ビス区分利用者利用料に対する	—	—	△ 191,400
			流動資産合計			331,826,165
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
土地	(桜田南拠点) 山形市桜田西四丁目20-16	2021年度	第2種社会福祉事業である共同生 活援助事業所に使用している	11,390,450	—	11,390,450
	(天童拠点) 天童市芳賀タウン南一丁目8番 2、8番3、8番4	2017年度 2018年度	第2種社会福祉事業である児童発 達支援事業所に使用している	65,607,263	—	65,607,263
建物	(桜田南拠点) 山形市桜田南1-19 1667.47㎡	1978年度	第2種社会福祉事業である就労継続 支援事業A型・福祉ホームに使用し ている	514,285,612	514,285,611	1
	山形市桜田南1-19 486.77㎡	2007年度	第2種社会福祉事業である就労移 行支援事業に使用している	97,966,971	74,427,607	23,539,364
	山形市桜田南1-19 481.74㎡	2010年度	第2種社会福祉事業である就労継 続支援事業B型に使用している	99,643,389	72,652,160	26,991,229
	山形市桜田西四丁目20-16	2021年度	第2種社会福祉事業である共同生 活援助事業所に使用している	4,723,550	1,799,753	2,923,797
	山形市桜田西四丁目20-16 (内部 造作)	2024年度	第2種社会福祉事業である共同生 活援助事業所に使用している	1,067,000	35,566	1,031,434
	(天童拠点) 天童市芳賀タウン南1-8-15 573.15㎡	2018年度	第2種社会福祉事業である児童発 達支援事業所に使用している	155,954,612	38,611,388	117,343,224
			基本財産合計			248,826,762
<b>(2) その他の固定資産</b>						
土地	(桜田南拠点) 山形市片谷地字待代675-1 (桜田南拠点)	2018年度	第2種社会福祉事業である就労継 続支援事業B型に使用している	9,356,400	0	9,356,400
建物	山形市桜田南1-19	1992年度	工場棟トイレ改修、耐火防水金 庫等工事	75,897,062	27,505,333	47,185,979
	(桜田南拠点) 山形市桜田南1-19	2024年度	デジタル化作業室間仕切り工事 一式	1,298,000	108,166	1,189,834
	(桜田南拠点) 山形市桜田南1-19	2025年度	受電設備高圧気中開閉機器 (PAS)	715,000	7,984	707,016
構築物	(桜田南拠点) 山形市桜田南1-19	2010年度	下水道設備工事、ひかり電話設 置工事等	36,803,837	31,913,751	4,890,086
	(天童拠点) 天童市芳賀タウン南1-8-15	2018年度	駐車場アスファルト工事	9,401,228	3,622,002	5,779,226
	(天童拠点) 天童市高瀬1751-8	2019年度	正面玄関スロープ設置工事 (貸貨物件)	199,800	61,352	138,448
機械及び装置	小森コーポレーション製4色印刷機 他49台	—	就労継続支援事業(印刷事業)・障 がい福祉事業等に使用してい る	249,451,945	227,912,736	21,539,209
車輛運搬具	ホンダステップワゴン他14台 マツダデミオ	—	利用者送迎等に使用している	26,508,455	25,476,091	1,032,364
	トヨタライトエース他1台	—	相談支援事業で使用している	1,018,000	1,017,999	1
	トヨタプロボックス他3台	—	リサイクル事業で使用している	2,896,531	2,896,529	2
	トヨタフォークリフト	—	印刷事業で使用している	4,774,300	1,515,547	3,258,753
		—	印刷事業で使用している	1,023,750	1,023,749	1
器具及び備品	パソコン等他285台	—	就労継続支援事業(印刷事業)・ペ ーカー事業等)・協会内環境整備用 品等	135,091,710	81,780,517	53,311,187
ソフトウェア	FUJIFIRMXMF機ソフトバージョン アップ他7件	—	就労支援事業(印刷事業)・障 がい福祉事業等に使用している	6,766,512	5,335,640	1,430,872
投資有価証券	山形受託印刷株式会社	—	特段の指定がない	—	—	25,000
退職給付引当資産	山形社会福祉振興会	—	将来における退職金支給目的の ため預入れている掛金残高	—	—	36,898,010

修繕積立資産	定期預金	山形銀行／南山形支店	—	将来における施設整備・機械修繕のために預入れている定期預金	—	—	4,576,153
備品等購入積立資産	定期預金	山形銀行／南山形支店	—	将来における機械等購入のために預入れている定期預金	—	—	34,500,728
	定期預金	きらやか銀行／北営業部	—		—	—	1,802,108
工賃変動積立資産	定期預金	山形銀行／南山形支店	—	将来における利用者賃金、利用者工賃支払いのために預入れている定期預金	—	—	32,261,000
	定期預金	きらやか銀行／北営業部	—		—	—	3,995,000
差入保証金	共同生活援助事業所事業・放課後等デイサービス事業（天童）	—	—	貸借物件敷金預入れ分	—	—	2,548,000
長期前払費用	福祉工場	—	—	サーバー保守料、Copibook保守料	—	—	819,500
定期預金	山形銀行／南山形支店	—	—	令和元年度寄付受領金	—	—	1,000,000
預託金	各サービス区分	—	—	2019年度自動車購入時支払いリサイクル	—	—	209,610
				その他の固定資産合計			268,454,487
				固定資産合計			517,281,249
				資産合計			849,107,414
<b>II 負債の部</b>							
<b>1 流動負債</b>							
事業未払金	各サービス区分	—	—	3月分諸経費、消費税確定納付額	—	—	13,069,682
その他の未払金	各サービス区分	—	—	3月分諸経費	—	—	4,842,998
1年以内返済予定設備資金借入金	天童サポートセンター 山形銀行／南山形支店	—	—	第2種社会福祉事業である児童発達支援事業所建築時借入金（令和5年度返済分）	—	—	5,004,000
未払費用	各サービス区分	—	—	3月分残業代、光熱費	—	—	1,112,375
預り金	各サービス区分	—	—	利用者活動積立金、旅行積立金	—	—	271,023
職員預り金	各サービス区分	—	—	社会保険料、住民税、振興会	—	—	4,357,352
事業区分間借入金	村山障害者就業・生活支援センター（雇用安定事業）	—	—	社会福祉事業より借入	—	—	31,000,000
賞与引当金	各サービス区分	—	—	令和6年度6月支給賞与 当期基準期間分	—	—	10,189,000
				流動負債合計			69,846,430
<b>2 固定負債</b>							
設備資金借入金		—	—		—	—	69,976,000
退職給付引当金		—	—		—	—	36,898,010
				固定負債合計			106,874,010
				負債合計			176,720,440
				差引純資産			672,386,974

# 監査報告書

令和6年5月30日

社会福祉法人山形県コロニー協会  
理事長 須貝 壽一 殿

監事 加藤 英樹   
監事 伊豆田 徹 

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員と意思疎通を図り、理事会及び評議員会に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を受け、重要な決議書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録について検討しました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務に関しては法令及び定款に従い、適正に執行しているものと認めます。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。